



EBENEZER
OPERATION EXODUS

主の御名に 栄光を帰す

1991年から2016年 アリヤー25周年を祝う



「ここまで主が私たちを
助けてくださった。」

第1サムエル 7章12節

ユダヤ人がイスラエルに帰還するのを助けるクリスチャンの働き。



かしらに堅く結びつく



国際



ピート・スタッ肯

PETE STUCKEN

国際エベネゼル緊急基金議長

「かしらに堅く結びつくことをしません。このかしらがもとになり、からだ全体は、関節と筋によって養われ、結び合わされて、神によって成長させられるのです。」コロサイ2:19

25年という期間は、4半世紀であり、またそれ自体が一つの世代を表しています。この両者の意味において、エベネゼルの働きは、重要な変化の時を迎えていると言えるでしょう。

1991年のエルサレムでの祈りの集会で、イスラエルがイラクのサダメ・フセイン体制によるミサイル攻撃を受けていた時、主はグスタフ・シェラーに、今こそユダヤ人のイスラエル帰還を助ける時だと語られました。

この驚くべき神の定められた出来事を通して、エベネゼル緊急基金が誕生しました。イギリスのボーンマスにあ

るグスタフの事務所から、ユダヤ人にコンタクトを取りアリヤー便の飛行機を調達する働きが始まったのです。てはじめは旧ソ連でした。そこにおいては、何百、何千ものユダヤ人たちが、アリヤーする準備ができていました。また、さらに何千人のユダヤ人たちが、誰かに自分たちの町や村に探しに来てもらい、イスラエルが今でも彼らの故郷の地であると知られ、イスラエルに帰還するために、エベネゼルは彼らを支援する用意ができていると伝えに来てもらうのを待っていたのです。

ボランティアの「フィッシャー（漁師）」たちは、ウクライナ、ロシア、中央アジアなどの広域に出てきました。初めてのアリヤー便の飛行機が出た後で、オデッサからハイファへの船での航路が開かれました。それで彼らは船で、自分の持ち物の多くを携え、故郷のイスラエルへと帰還し始めたのです。

新しい国際ロゴ

2015年にエベネゼル国際理事会は、新しいロゴの採用を申請しました。理事会は次のような新しいロゴを求めていました。

- 1) この働きの土台と歴史を反映するもの
- 2) この働きの名称であるエベネゼル出エジプト作戦を取り入れたもの
- 3) 世界中で使えるもの

私たちの若いデザイナーであるホアン・サボリドが祈りをもってこの働きに加わり、まずグスタフ・シェラーの本「出エジ

プト作戦」を読みました。そして、Iサムエル記7:12にある「ここまで主が私たちを助けてくださった。」というサムエルの証のことばにたどり着きました。そして本では、「私たちは、出エジプト作戦という名で、自分たちがすべきだと感じていることを説明した小冊子を出し、そこからエベネゼル緊急基金という働きを立ち上げたのです。」とありました。

二つの表からわかるように、ホアンは次の要素を新しいロゴに込めました。そしてそれが国際理事会に承認されたのです。今後このロゴが、この働きで使用されることになります。



エベネゼルが使用した初の船である「地中海の空」号

このようにしてエベネゼルの働きは始まりました。ボーンマスの小さなオフィスから始まり、旧ソ連の多数の支部へと広がりました。アリヤーするための書類を整えたり、ビザ取得するのは、困難を極める時間のかかるプロセスが必要でしたが、エベネゼルのチームは粘り強く奉仕しました。そして、飛行機と船で、オリムがイスラエルへ帰還する支援をしてきました。今年の1月で、エベネゼルによってイスラエルへ帰還したユダヤ人の数は、15万人に及びます。

これは、ただ全能者なる神の恵みによるものです。このようにユダヤ人のイスラエル帰還という栄光に満ちた働きを私たちは継続させていただいています。エベネゼルの「フィッシャー（漁師）」は、現在ヨー

ロッパ、アメリカ合衆国、ラテンアメリカで活発に活動しています。そして、50か国以上にエベネゼル支部があります。そしてそれぞれの働きにおいて、アリヤーのための祈りをし、イスラエルのための神の預言的な目的を教会に伝え、ユダヤ人に対するさまざまな形の経済的支援をしています。

私たちが25周年を迎えるにあたって、立ち止まってこう問います。「私たちは何者なのか。」私たちは、神の力強い愛と回復の力をあらわすために召し出され、整えられています。この神は、イスラエルを贖う方、回復、癒しを与えるお方で、義なるお方であり、また約束されたことを必ず成就されるお方です。

ユダヤ人の帰還を支援するために、私たちはイエス様の御性質を表

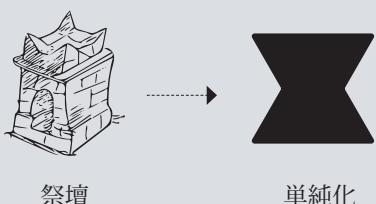
し、写し出すものであることを願っています。イエス様こそが、私たちが従うべき頭なるお方なのです。私たちのお互いの関係も、キリストのからだの部分として様々な機能を果たしながら、お互いに健全に結合し、愛の絆で結ばれていかなければなりません。

私たちは固く頭なるイエス様に結びつきます。なぜなら、その時にはじめて神からの成長が与えられるからです。そしてそのような成長だけを私たちは願っています。そのようにして、私たちは召しを果たすために適切に配置されるのです。全地からユダヤ人がイスラエルへ帰還するために祈り支援していく為に。

このことは、主の聖なる御名に栄光をもたらすことでしょう。

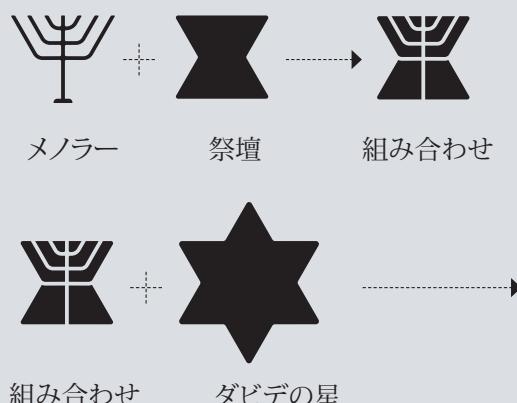
象徴：

わかりやすいユダヤの象徴を用いて、クリスチャンのアイデンティティを妥協することなしに、ユダヤ人に向けて親しみのある態度を示すことを試みました。



メノラと祭壇のコンビネーション
私たちは畏敬の念をもって立ちます

形を分けて、メノラの分け目を作ることによって、二つの象徴、つまり隠れたメノラと礼拝する姿勢という象徴を表しています。





国際欄



MARKUS J. ERNST
マルクス・J・エルンスト
国際エベネゼル緊急基金会長

「私たちは普通の人だが、私たちは普通ではない偉大な神に仕えているのです。」とエベネゼルの創立者である故グスタフ・シェラーは言っていました。私たちは、いと高き神様のしもべに過ぎないです。私たちは、神様が御自身の契約の民に約束されると預言したことを成就されたみわざを覚え、25周年を祝い、畏敬をもって神の前に立っています。それは、神の民が約束の地に帰還するのを、私たち信者が助けることです。(イザヤ43:5-7、エレミヤ23:3)

神様は、ほとんど不可能な状況に思われる場所で、出エジプト作戦を発足させてくださいました。それは、120人のとりなし手が、湾岸戦争の只中でエルサレムにおいて、ガスマスクをつけて防空壕にすわっている集まりにおいてでした。しかしこれは神の時だったのです。そして神様は不可能を可能へ変えてくださったのです！ですから、この働きは祈りによって生み出されたものであり、祈りこそが私たちのなすすべてにおいて源となっているのです。世界中にいる本当に多くの献身的などりなし手にも私たちは深く感謝しています。



預言で語られていることを成就する助けをするしもべとなるために、主は飛行機と船をチャーターする備えを与えてくださいました。(イザヤ書60:8-9) 主は多くのボランティアを、ユダヤ人が真の故郷の地イスラエル(イザヤ書49:22)に帰還する助けをするために召し出されました。オデッサからハイファへの渡航は12年に渡って行われ、世界中のクリスチヤンに対して、今が神がユダヤ人をイスラエルへ集める時であるという、強いしとなりました。(エレミヤ31:10) パウロはローマ書15:27において、私たちがユダヤ人を支えるのは私たちの務めであると語っています。また、イザヤ書62:10では、私たちが道を備えるように召されていると語っています。

私たちは、主がこの働きを50か国以上にも拡大させてくださっているのを見て驚くばかりです。主は世界中の信者を通して経済的支援が与えて下さり、15万人以上のユダヤ人が過去25年の間に、イスラエルに帰還するのを支援したり、旧ソ連においては、人道的支援を通して何千人のユダヤ人を支援し慰める働きをさせて下さいました。神の選びの民に対してなんという素晴らしいクリスチヤンの愛とケアの証となっているでしょう！

私たちが主の御名に栄光をお返しする時、私たちはこの預言的なアリヤーの働きにおいて、イスラエルの神とともに働くことができる特権にあずかることができることを、ただただ驚くばかりです。愛する祈りのパートナー、支援者、同労者の皆さん、皆さんはこの奇跡の一端を担っているのです！

イスラエルで再びとともに

空港へ向かう中、89歳のターシャは彼女の家族のことを話してくれました。ターシャは自分はイスラエルへ帰還することは以前はあまり望んでいなかったのですが、何年か前にイスラエルに帰還したひ孫のビクトリアを訪ねて行きたいとずっと思っていたのです。

ビクトリアの母親はやっとターシャを説得して、彼らがみんなでイスラエルに帰還することになりました。そして家族全員がアリヤーする決断をしたのです。

しかし、ターシャが転倒して腰の骨を折ったため、この計画は中断しなければなりませんでした。ターシャは高齢だったので長期間安静が強いられ、夢は絶たれたかのように思われました。しかし、ターシャの娘は申し込みの準備を進めていきました。

現在は、ターシャと彼女の孫娘と義理の息子はイスラエルにいます。そして彼女の娘は、残って彼らの二つのアパートを売り、それから合流する予定です。そして4世代が皆約束の地へ帰還することができるようになったのです！



ターシャの夢がかなう（ターシャは写真中央）

カザフスタン



カザフスタン
ZHANSOLU
ザンソル
カザフスタンリーダー

特別な時

私たちは、ハバロフスク空港にアリヤー便で飛び立つバレンティナを見送りに行きました。その時、見覚えのある顔のユダヤ人が現れました。バレンティナの娘のナタリアが、母の帰還に同伴するためにわざわざイスラエルからやってきたのです。ナタリアは2年前にアリヤーしていました。

その6か月前に、バレンティナはアリヤーの手続きをしていました。そしてイスラエルのビザがおりた時にはとても喜んでいました。彼女はナタリアに約束の地で再会する時が待ちきれませんでした。ですから、ナタリアがハバロフスクに現れた時、それは感動の瞬間で、二人は互いに抱きしめあい、私たちもまた一緒に抱きしめあいました。様々な世代の者たちがイスラエル、神が彼らに約束された土地へ向かう途中で再会するのはいつも特別な時です。



ロシア



KONSTANTIN G ALYONA
コンスタンチン G アルヨナ
ハバロフスクリーダー



西へのシフト



ヨーロッパ



ヨーロッパ
URS KASERMANN
ウルス カセルマン
開発部長

写真
上：オランダのオリム
のためにコンテナに
荷物を積み込む様子

右下：イスラエルのID
カードを持ったオリ
ムたち

過去25年の間、私たちは、ユダヤ人をイスラエルへ帰還させる神の力強い御手を見てきました。それは、「北の地」（旧ソ連）から始まりましたが、数年前からユダヤ人の帰還は、すべての国々からという方向へ変化してきました。（イザヤ書43:5-6）

中央ヨーロッパにおけるエベネゼル国際部の働きは適所に配置され、私たちの地域のエベネゼルチームは順調に活動しています。ヨーロッパにおける急激な反ユダヤ主義的攻撃に対して、エベネゼルは、「第一回中央ヨーロッパカンファレンス：贖われたイスラエル」を開催しました。これは、昨年6月のことです。フランスのアンビリーにおいて、15か国からリーダーやとりなし手や支援者が集まり、3日間にわたってともに礼拝し、祈り、アリヤーのための主のみことばを求めました。

パリにおけるユダヤ人に対する攻撃はフランスだけでなくヨーロッパ全体、そして世界中に衝撃を与えました。2014年から2015年にかけて、フランスからのアリヤーが大幅に増加しました。そして、昨年11月に起こったパリでの大量殺人によって、さらに帰還者の数が増加することが予想されます。ユダヤ人団体や他のユダヤ人グループとの協力を通じて、この国におけるエベネゼルチームは、ますますフランスのユダヤ人たちに知られるようになってきました。昨年だけでも、私たちは500人のアリヤーを支援しました。この数は帰還者全体の約10%を占めています。

ドイツからのアリヤーも増加しています。2015年8月にドイツから2回目、3回目のアリヤーの飛行機の便が飛び立つことゆえに、神さまを賛美します！エベネゼルのドイツチームは、ユダヤ人協会とても良い関係にあり、さらに多くのアリヤー便が2016年に予定されています。

イタリアからの最初の飛行機のアリヤー便が昨年7月に飛び立ちました。2015年はアリヤーの働きの始まる時だと思っていましたが、チームの予想をはるかに越えるものでした。2016年にはさらに多くのアリヤー便が予定されています。

エベネゼルオランダチームは、ユダヤ人の家族の荷物を運んだり、帰還者を空港へ送ることを通して支援しています。イギリス、ベルギー、スイスにおいても、エベネゼルチームはユダヤ人家族のイスラエル帰還の支援をしています。ユダヤ人やユダヤ人団体との関係や、アリヤー支援の働きは、これらの国々において成長しています。

私たちは、アフリカからのとりなしの祈り、また献金の支援に本当に感謝しています。特に、南アフリカ、ブルキナ、ファソ、コンゴ民主共和国においては、忠実なエベネゼルチームが奉仕しています。彼らは、クリスチャンや教会に、神のイスラエルに対する御計画について情報を伝え、アリヤーのために祈っています。彼らはまたラジオやテレビでも語る機会が与えられています。



祈りは私たちの心臓の鼓動

祈りのチーム

エベネゼル出エジプト作戦の誕生は1991年の1月、エルサレムで24か国から120人のとりなし手が集った国際祈りの集会の時でした。

その週は、サダム・フセインがスカッドミサイルをイスラエルに発射し始めた時でした。

このような環境の中で神は、この働きの創始者グスタフ・シェラーに語りました。この言葉は「今がユダヤ人が北の地から故郷に戻ってくるのを助けるときだ」という言葉を語り、集会のリーダー達によって確認されました。

この集会の最初のメッセージは、エレミヤ1:11-12からで、21世紀のミニストリーのために祈るために召された私たちにあてはまる言葉でした。「わたしのことばを実現しようと、わたしは見張っているからだ。」

祈りはこの働きの中心でした。ですから、早くから私たちは、祈りにおいて主に対する献身とお互いに対しての献身によって支えあうことの重要さを学びました。

スマールグループでお互いに祈ることと、私たちの予定表を横に置いて父の御心は何かを求めることが学びました。

一致している2人以上の祈りには特別な力があります。祈りは「私たちのもの」であり、それは、「私たち」が祈ることであって、「私」(個

人)だけで祈るのではないことも学びました。

主は、私たちが主の御名を御言葉とともに困難な状況の中においても、高く掲げることを教えてくれました。(詩編138:2) また、御言葉の宣言と神の武具の理解は、敵の悪巧みに對して格闘するにあたって、私たちの祈りにおいて欠かせないものです。(エペソ6:11)

祈り



JOAN THOMAS

ジョアン・トーマス

祈りのチーム

イザヤ62:10にこう書いてあります。

「城門を通れ…民の道を開け。…広い道を備え、石を取り除け…」

御靈によってエベネゼル出エジプト作戦がアリアーの大路をつくることの召しを主が与えてくださったことに対して、御言葉の宣言がなされています。

これは、靈的戦いと祈りの献身も含まれております。その祈りは、ある地域や国に焦点を当てているものです。(2コリント10:3-6)

私たちは、私たちの天の父に、御使いを御言葉にそって靈的戦いのために御使いを解き放ってくださるように求めるように導かれます。

(詩編103:20-21)

エベネゼル祈りの旅に加わってくださった方に感謝します!



上：エベネゼルはこのようなガスマスクをつけながらの祈りの大会の中で誕生しました。

左：2枚ともロシアでの祈り

パリに新しい支部誕生

フランス

最近、エルサレムで行った集会で、エベネゼルフランスチームとアリヤーの働きの成長をサポートするために新しい支部をパリに開くことを発表しました。

ユダヤ人協会は、反ユダヤ主義的攻撃が増えていることを報告しています。

そして昨年、フランスから7,900人のユダヤ人がアリヤーをしました。

これは、過去最大の人数です。

エベネゼル出エジプト作戦は、クリスチャンフォーライスラエルインターナショナルと協力しながら、フランスにおいて拡大する努力を続けています。そして、フランスの新しい支部は、2016年の私たちの開発計画の一部です。

フランス在住の60万人いるユダヤ人のうちの70%が、パリに居住しています。そして、新しい支部を開くことは、この地にお

けるエベネゼルの重大な戦略的なステップです。この支部は2月に開かれました。そして、エリザベス・ウェブとサラ・ギメネズは、この働きをフランス代表のザビエル・ダリュトルの指導の元で建て上げています。この鍵となるポイントは、パリの教会とのコントラクトを確立させることと祈りのサポートを建て上げることです。また、エベネゼルチームは、アリヤーする人のために実際的な支援をしていきます。

主の覆いが、新しい働きの中にいるエベネゼルチームにあるように祈ってください。また、アリヤーの働きのために、パリにおいて主が整え召しておられる人々の為に祈ってください。



ALAN FIELD
アラン・フィールド
国際コーディネーター



engage:Israel
18 JULY - 1 AUGUST 2016
for ages 18 - 35+

TOUR PRICE
1590 US\$*
(*excl. flights & some lunches. Price subject to change.)

+info: www.engage-israel.org

BATTLE FOR ZION
4TH INTERNATIONAL EBENEZER TOUR TO
1 - 11 SEPTEMBER

Tour Guide: Hanna Ben Haim
Leaders: Urs Käsermann and Johannes Barthel

Hotels: Tel Aviv, Sea of Galilee and Jerusalem
Tour Price: 1899.- USD
Flight costs not included.
www.operation-exodus.org/tour-book

Operation Exodus

A ministry of Ebenezer Emergency Fund International



Operation Exodus USA
PO Box 568 Lancaster
NY 14086

Phone: 716 681 6300
info@ebenezerusa.org
www.ebenezerusa.org

エベネゼル緊急基金日本支部
〒062-8691 豊平郵便局私書箱37号
Tel&Fax: 011-813-3558 (岡田)
Email : e@eefj.org
<http://ebenezerjapan.org/>
郵便振替 (名称) エベネゼル緊急基金
(番号) 02710-0-55842

Operation Exodus (出エジプト作戦)はエベネゼル緊急基金の実際的な働きの名称です。すべての国々からユダヤ人がイスラエルの地に帰還するように支援しています。彼らが約束の地に帰還するという神の計画と目的を宣言するべく1991年に3人の人から始まりました。

イギリス本部、アメリカ、イス、ドイツを中心に国際的活動を展開し、さらにイスラエルを含めた25カ国に各国代表者と各国支部を配置しています。そして、旧ソ連諸国には実際的な働きのために、数多くの活動の拠点を設置しています。日本支部もその働きの一部です。